

## ●県内留学について

まず生徒会が行った高知県に足りないものは、というアンケートの結果の中で321人中117人もの人が学力と回答しました。2009年度実際に行われた全国学力テストの結果では確かに全ての教科において、高知県は全国平均を下回っていました。そこで、どうすれば学力が向上するのだろうかと考え、「県内留学」の導入という案を思いつきました。

まず、県内留学のシステムについて説明します。行事が少ないと思われる6月と11月の平日に1回ずつ、合計2回、県内留学日を設けます。高校2年生を対象とします。留学先の学校の授業をそのまま受けることができます。また放課後は、クラブ活動に参加することもできます。

私たちが最初考えた案は、長期休みに1週間、中3生から高2生を対象とし、留学生専用のプログラムを組む。簡単に言えば、大学のオープンキャンパスの高校生版のようなものを考えていました。しかし、1週間もやると学校の負担があまりにも大きく、また、留学というのは本来自らが行き、その学校のありのままの雰囲気を感じ、そして吸収するというのが目的であり、専用プログラムを作ってしまうとは留学の意味がないということになり、その結果、平常授業こそが一番いいという結論になりました。

また、平常どおりの授業でも、将来を考えるいい機会になると考えています。例えば、我々学芸生のような普通科の生徒が農業高校、工業高校のような実業科に留学するとします。農学部志望の生徒が農業高校で農業体験をしたり、工学部志望の生徒が工業高校で学習をすれば、将来の仕事のイメージを具体的に確かめることができると思います。我々、学芸生は知識ばかりを詰め込む傾向にあるので、これは非常にいい機会になると考えています。

また高校によって、教科書や学習の進度が全然違うのではないかと質問も出ました。教科書は留学先にコピーを準備してもらい、また進度の差はそれを知ることで大きな刺激を受けることができるのではないかと、大丈夫だと判断しました。

新聞やニュースを通して、現代の若者の多くが、初めての職場になじむことができず、早々に職を辞してしまうという現状があることを知りました。大学卒業生の3分の1程度の方は、3年以内に職を辞してしまうということです。ですから、社会に出る直前であり、受験までにまだ余裕もあり、将来の自分についてじっくり考えることができる高2生を対象にしました。

この県内留学の目的は、自分にとって未知の環境を見ることにより、外部からの刺激を受け、知的好奇心を持ってもらおうというものです。なぜなら、人間が勉強しようと思うときは、少なからず外部からの刺激を受け、知的好奇心を持ったときではないかと思うからです。

最後に、私たちは学力向上に必要な不可欠なものは、学びたいという積極的な姿勢、それ

2009年度 全国学力テスト（中3）の結果

平均点	国語A	国語B	数学A	数学B
高知県	74.2	69.8	56.5	49.7
全国	77.4	75.0	63.4	57.6
全国との差	3.2	5.2	6.9	7.9

\*4月21日実施分のみを集計です。

を行動に移す機会だと感じました。今回の県内留学の企画が絶好の機会になるのではない  
かと思うので、是非、検討してみてください。